

# 居合道だより

埼玉県剣道連盟居合道部

広報委員会

平成15年1月30日発行

第55号

## 『平成15年 新春のごあいさつ』



埼玉県剣道連盟居合道部 顧問

居合道 範士八段

渡辺 秀雄

明けましておめでとうございます。

昨年は全日本剣道連盟設立五十周年にあたり、多くの記念行事が催され、一段の隆盛と発展を見せた一年となりました。

埼玉県剣道連盟に於きましても、平成16年に埼玉県で開催される第59回国民体育大会の秩父市文化体育センターで行われる剣道大会を成功させるため、大久保会長以下会員一同、意気軒昂の気運でございます。

昨年、同会場で行われた全日本剣道連盟主催の居合道地区講習会が立派に成功したことも、その機運をさらに高めることとなりました。

埼剣連の先生方の温かいご指導の下、井上部長を先頭とする皆様の一致協力による見事な運営ぶりに感慨深いものがございます。

本年は第38回全日本居合道大会が秩父市の同会場で開催されます。

平成6年に開催された第29回全日本居合道大会が同会場で行われ、その運営に当たられた経験者も多くおられることもあり、以前にも増して立派な大会となることと確信しております。

埼剣連の先生方の温かいご支援、ご指導をいただき、部員の皆様の熱意を受けて、強化選手は強化委員長の山崎先生、監督の井上先生の下で一生懸命に精進努力され、技前と精神面共向上を続けます。必ずや立派な戦いぶりが展開されることでしょう。

井上部長の下で会員の皆様が懸命な努力を着実に重ね、部活動、実力とも着実に充実を見せております。事務局のコンピュータ化もいい人材に恵まれて、着々と進んでおります。

県外から著名な先生方を招聘しての講習会では、先生方も快く来てくださり、熱心に指導してくださいました。これも会員皆様の熱意の賜物であります。

部活動の重要な一つに、講習会が開催されます。会場を引き受けられる支部の皆様の労を厭わず、一生懸命にお世話くださる行為には心より感謝致します。

これからも会員の皆様一丸となって、さらに飛躍されることを期待しております。



## 第3回五段以下居合道大会



日時：平成14年10月27日（日）

場所：入間市武道館

主催：(財)埼玉県剣道連盟居合道部

秋晴れの中、地元の入間市長、入間市剣道連盟会長ご臨席のもと、小林正則先生の進行で開会式がおこなわれた。

### 井上部長あいさつ

五段以下大会は、今回で第3回目の開催ですが、年々参加者が増えており、本日は240名の参加者を教えております。埼玉の居合道界では確実に底辺が広がりつつあることを実感し、大変嬉しく思います。これも、各支部で地道に指導に当たられております先生方のご努力の結晶であり、心より感謝申し上げます。なお、本日はご多用の所、地元入間市長木下博様、入間市剣道連盟会長の馬場外土様のご臨席を賜り、盛大に本大会が挙行できますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、本日は五段以下の大会でございますが、居合道の基礎とも言うべき礼法、正確な技前、腰の備えと手の内の動きは、三段までにしっかりと身に付け、そして、四・五段はその上にさらに心の落ち着きや理合にかなった技の流れを身に付けて戴きたいと思っております。本日の試合では、こうした観点に立って、試合を拝見して戴きたいと願っております。

選手の皆さんには、日頃ご精進なされた成果を存分に発揮し、公明正大に堂々とした試合をして下さい。また、審判員の先生方は、居合道試合・審判規則に則って公平に審判に当たって下さい。また、大会の運営に携わる役員、係員、地元の会員の方々のご協力に、御礼申し上げます。

埼玉大学の剣道師範を長く勤められた志藤義孝先生は、「上位の者には気を学び、下位の者には技を学び、初心の者には基本を学べ」と教えられました。この教えを活かし、今日一日、有意義にお過ごし下さい。皆様のご健闘をお祈りいたします。

### 来賓あいさつ・入間市長 木下 博様

皆様おはようございます。早朝より当入間市武道館にお越しいただきありがとうございます。第3回埼玉県五段以下居合道大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

わが入間市は、狭山茶の主産地としてさかえ、市民の活発な活動が展開されております。本日はこのような素晴らしい天候の中、皆様方をお迎えすることができました。心よりご歓迎申し上げます。また、昨日今日と、入間市で大きなお祭りである「万燈まつり」を開催しております。

皆様方には、古武道の精神を未来に引き継いで行こうということで、積極的に取り組まれておりますことに、心から感謝申し上げます。それぞれの地域のリーダーとして、青少年の育成をはじめ、多くの方々に伝統文化というものを継承していただければ大変ありがたいと思っております。

平成16年彩の国まごころ国体では、当入間市はなぎなたの会場になっており、今準備を進めているところでございます。私といたしましても、このような武道を大いに奨励し、その発展のために寄与してまいりたいと思っております。それでは、本日の大会が皆様方にとって意義ある大会となり、また、日頃の成果を十分に発揮されますことを祈念し、歓迎のごあいさつといたします。



木下入間市長のあいさつ



試合風景



各段の優勝者と井上部長

来賓あいさつ・入間市剣道連盟会長 馬場外士様

第3回埼玉県五段以下居合道大会の開催、誠にありがとうございます。ようこそ入間市へお出で下さいました。とても嬉しく思い、ご歓迎申し上げます。

入間市の居合道部は、中島正吉先生、中島甲子郎先生、榎本義男先生はじめ、多くの先生方のご努力によって結成され、年々会員も増え、往時は70名近い人数でありましたが、やむなく一時解散いたしました。その後、平成4年5月、入間市にこのような立派な武道館を建設していただいて落成いたしました。この時、滝沢寛夫先生、日名子正昭先生、大野木好雄先生らが中心となって努力され、居合道部が再結成された次第であります。大野木先生が着実に会員を増やし、今日に至っております。

本日はこのような大きな大会が当入間市で行われますことは大変嬉しく思います。選手の皆様には、日頃の技を十分に発揮されますよう。また、本大会が成功されますことを心よりご祈念申し上げます。

引き続き、本日の審判長である三枝俊幸先生より、指定技が発表された。

#### 指定技

- 初段以下 1本目前・3本目受け流し・5本目袈裟切り・7本目三方切り・9本目添え手突き
- 二・三段 古流2本(自由)・5本目袈裟切り・7本目三方切り・9本目添え手突き
- 四・五段 古流3本(自由)・7本目三方切り・9本目添え手突き

5会場で行われ、三上審判長の合図で一斉に試合が開催された。試合の進行は順調で、午後2時過ぎには各会場で決勝戦が行われた。引き続き六・七段の先生方の個人演武が行われた。本大会は教士八段井上巳代治先生の模範演武で締め括られた。

#### 審判長・三上俊幸先生の講評

まず審判員については、講習会などでの恥のかきかたが足りないように思います。もっと大きな声で、明瞭な判断を望みます。審判員の判定が良くなれば、試合がもっと良くなります。

出場された選手は、初心のうちから技をまとめようとしていますが、かえって技の勢いが足りなくなっています。力まかせというのではなく、下半身を安定させ、手の内の働きによる刀勢、体の勢いを、各稽古処でもっと鍛えてほしいと思います。

大会副会長 松本 孝先生の閉会宣言で、本大会は終了した。

#### 試合結果

初段以下の部	第1位	石ヶ森英俊	第2位	森 友彦	第3位	玉利 俊一・穴倉 鉄平
二段の部	第1位	島村 公平	第2位	斉藤 聡	第3位	岡本 裕樹・西中 堅二
三段の部	第1位	梅沢 英人	第2位	関川 富二	第3位	荒川 慶悟・岩田 卓巳
四段の部	第1位	関口 康尚	第2位	西海 真美	第3位	本間 正行・高木 雅也
五段の部	第1位	三上 賢治	第2位	西山 茂	第3位	笠木 由美・永井 恒夫

# 平成14年度第2回居合道講習会

1. 日 時 / 平成14年9月29日(日) 午前9時受付・9時30分開始・午後4時終了
2. 場 所 / 大和根町総合体育館
3. 講習内容 / 全日本剣道連盟居合・審判法
4. 講 師 / 範士八段渡辺秀雄(主任講師)・教士八段山崎 誉・教士八段井上巳代治
5. 参 加 者 / 初段以下14名、二段13名、三段24名、四段24名、五段23名、  
六段15名、七段31名 八段 3名 合計147名参加

主任講師 渡辺秀雄先生

京都での中央講習会に八段3名が参加して参りました。先日七段の先生方には伝達講習を行いましたので、今日は七段の先生方にご協力をいただいて細部に行き届いた講習ができると思います。

全剣連居合の解説書は作法・実技・補足の3つから成り立っています。

安全管理のため目釘の確認を怠らずにお願いします。さらに、刀の手入れでは鞘にも気を使って、鞘走りなどしないよう普段から心掛けて下さい。

解説書に基づいて、渡辺先生の解説、井上先生による模範演武が行われた。

実技講習の要点

- ・作法や礼法は、正しく丁寧に行う。修行の深さが現れる。
- ・下緒は各流派で定められた方法で、自然に行う。
- ・1・2本目...抜き付けの時、引き手を十分に利かせる。
- ・3本目...上体をかばった姿勢となる。
- ・4本目...棟を左乳に当てたら、間を置かずに突く。  
横血振りは、左手と右手が同じ高さで、剣先はやや内側で、わずかに下がる。
- ・5本目...右脇腹から逆袈裟に「切り上げる」、刀を止めることなく「切り下ろす」。
- ・6本目...中段は両足を揃えない。
- ・7本目...前方の敵を押しながら刀を抜き出し、右、左の敵に向き直る時は、軸足が変わることに注意。
- ・8本目...前の敵に顔面当てをした後、後の敵に向き直る時は「鞘放れ」と同時に左足を左に踏みかえる。  
右上腰に当てて刃を外側にして刀を水平にする。
- ・9本目...抜き付けは、右拳が臍の高さで剣先やや上がり、刃先の方へ血振り。
- ・10本目...柄当てを激しく、水平よりも下がるように。
- ・11本目...受け流した拳はやや右側に。  
鋭角に斬る。  
腰腹部は真左から真右まで(180°)で、止まらずに。
- ・12本目...左足を大きく引いて、敵の剣をしっかりと抜く。  
抜き上げた時、右拳は正中線。

最後に山崎先生が、礼法から始めて、1本目から12本目までを通して演武された。



渡辺先生のあいさつ



渡辺先生の解説・井上先生の実演

引き続き審判法についての講習が行われ、午前の講習会は終了した。

### 審判法（審判員と試合者）

- ・ 審判員は、所定の場所に置いてある旗を、各自で取りに行き、右手に持ちます。
  - ・ 入場する前に、まずお互いの礼をして、主審を中央に3人並んで正面の礼をします。
  - ・ 右手に旗を持って所定の位置につき、時計回りで移動して着席します。
  - ・ 右に赤、左に白旗を約10cm（一拳）間隔で置きます。
  - ・ 試合者は、所定の待機場所にてお互いの礼をします。
  - ・ 審判員の用意が整ってから、場内に入り、開始線まで進みます。
  - ・ 複数の試合会場の場合、審判長が合図し、主審の「はじめ」の号令で試合開始となります。
  - ・ 判定の後、試合者は、次の試合者と、ほぼ中間地点で入れ替わります。
  - ・ 審判員の交替は、椅子を挟んで相互に「礼」を行い、時計回りで入れ替わります。
- 審判員は退場し、正面への礼を行い、相互の礼をします。

### 試合と旗の表示

勝敗の決定...主審は起立し、「判定」の号令で、審判員3名が同時に旗の表示。

主審は旗を確認し、「勝負あり」

不戦勝.....主審は起立し、「勝負あり」

止め.....副審もかけることができます。

試合者が中止を要請する場合には、手を挙げて、発声し、主審に理由を述べます。

合議.....時間超過・指定技間違いの時には、必ず合議。

その他.....不正行為は失格になります。

午後は各段位別に分かれ、七段の先生方のご指導を受けながら、全剣連居合についての実技講習が午後3時30分まで行われた。

講習主任の渡辺先生のお話にあったように、講習会で先生方は何度も同じことを説明されます。何度も繰り返さなければ、なかなか身に付けることができないということだと思います。渡辺先生は、「試合の善し悪しは、審判員にかかっている」とお話されました。高段者になってからやればよいというのではなく、普段の稽古と同様、審判法についても常日頃より学ぶ必要があることを痛感しました。

（小宮山 記）

# 第37回全日本居合道大会

於：大阪市中央体育館

平成14年10月19日、大阪府において、第27回全日本居合道大会が開催された。埼玉県は井上巳代治監督率いる、七段小野澤隆一（浦和）、六段小宮山克己（上尾）、五段柳川淳（飯能）が出場した。会場は毎年大阪大会が行われる大阪市中央体育館、前日に会場を下見する。会場は準備万端である。試合当日、1回戦は私も柳川さんもシード、すでに団体戦には得点を刻んでいる。大将の小野澤選手は、山形大会の優勝者原田選手との1回戦を制した。2回戦とも



初出場でベスト8と大健闘の柳川淳選手

なれば、皆十分な技量の持ち主ばかり、しかも1回戦を勝ち抜いた相手は乗っけて全く油断できない。初出場ながら柳川選手は落ち着いて堂々とした演武で初戦を突破した。皆が厳しい闘いを掻い潜り、柳川選手は、地元大阪の選手と対戦し、惜しくも敗退したが、初出場で五段の部ベスト8と善戦、六段小宮山ベスト8。七段の部では初出場となった小野澤選手もベスト16と健闘し、都道府県対抗で第5位の成績は、皆の力の結集による結果である。今年は多くの先生方、皆様方のご協力をいただき、また、ともに錬成した仲間たちの後押し、当日応援に駆けつけて下さった方々、審判に当たられました渡辺先生、山崎先生、世話になりました。この勢いを発展させ、地元埼玉大会では納得のできる結果に繋げて行きましょう。

（小宮山 記）



山崎強化委員長・井上監督と9名の強化選手▶

## < 強化錬成の記録 >

- ・平成14年8月11日 埼玉県東西対抗・支部対抗居合道大会での演武
- ・平成14年8月24日 錬成稽古 県立スポーツ研修センター  
指導者 藤田文三 渡辺秀雄 山崎 誉 井上巳代治 松本 孝
- ・平成14年8月25日 県外講師招聘特別講習会 鴻巣市総合体育館  
指導者 藤田文三
- ・平成14年8月31日 錬成稽古 県立スポーツ研修センター  
～1日 指導者 草間惇壹 渡辺秀雄 山崎 誉 井上巳代治 松本 孝
- ・平成14年9月15日 錬成稽古 県立スポーツ研修センター  
～16日 指導者 小倉 昇 渡辺秀雄 山崎 誉 井上巳代治 松本 孝
- ・平成14年10月12日 錬成稽古 秩父「美津根園」  
～13日 指導者 渡辺秀雄 山崎 誉 井上巳代治

# 『夢大会』

飯能支部 柳川 淳

居合の世界に足を踏み入れ、歩み続けて早12年、その間常に「全日本居合道大会に出たい」という想いが常にありました。しかし7月の選手選考会で埼玉県代表に決定した時は、嬉しさよりも「大変な事になってしまった…」という思いが何故か強く湧き起こり、これから始まるであろう、それはそれは厳しい強化稽古への不安と重なり、かなり憂鬱な気持ちで帰途についたのを覚えています。

今年の夏は今迄の人生で最高に暑く感じた夏でした。藤田文三先生、草間先生、小倉先生の御指導による稽古は自分の今迄の積み重ねが浅薄に感じられる程奥が深く、また自分に対し要求されるポイントも非常に高レベルであり、稽古も当然の事ながら厳しいものでした。ある回はマメを潰し、ある回は水分を2ℓ以上も補給したり、ある回は振りの稽古で何故か腹筋が痛くなり、ある回は疲れが溜まり放心状態で演武をしました。そして稽古の度に自信を失って行き、苦しむ。そんな夏でした。

しかしここで私を支えてくださったのが、強化委員長の山崎先生をはじめ強化委員の先生方、そして何より師であり監督でもある井上先生、小野澤キャプテン、小宮山先輩を始めとする強化選手の方々、そして埼玉県居合道部の皆様方でした。

井上先生は通常の稽古の際、あまりにも課題が多く消化不良を起こしている私に、本当に分かり易く御指導下さいました。小野澤・小宮山先輩は私の事を可愛がって下さり、グイグイ前に引っ張っていただきました。強化選手の皆様とは苦しみを分かち合い、居合道部の皆様からは、講習会等の際に「頑張ってください」と多くの声をかけていただきました。稽古を積み重ねても相変わらず自信は持てませんでしたが、このように多くの方々に一歩ずつ前に連れて行っていただきました。

大会までは、振り返ってみるとアツという間でした。不安は消えませんでした。しかし、大会会場でトーナメント表に自分の名前を見つけた時、まるで合格発表の時のように喜びが湧き起こり、「ああやっとここまで来られたんだ…」と、しみじみ思いました。

試合ではあまり緊張しませんでした。緊張よりも試合に出場できる喜びが強かったこと、七段・六段の部で先輩方が勝ち上がっていたので、自分も「よし、行ける」という気持ちになったことが大きな理由だとおもわれます。一回戦の前、待機場所に居る時は、一瞬金縛りの様な感覚に襲われたりしましたが、いざ、試合となると稽古のお陰で身体が自然に動き、技を出してくれました。

一回戦突破が目標でしたが、準々決勝まで進むことが出来、驚き四分・試合に敗れた悔しさ六分といった所が、今の私の気持ちです。

平成15年を迎える今年は、いよいよ地元埼玉での全国大会です。もう一度あの夢大会に出られる様、努力の毎日です。

最後に、この大会を通じて感じた事ですが、都道府県内のチームワーク（選手だけでなく、居合道部の皆様全員を含めて）は、埼玉が一番であると実感しております。

この素晴らしい県の代表に選んでいただき、また、皆様にご指導、暖かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

# 居合道昇段審査会（初段から五段）

《審査期日：平成14年10月6日（日）》  
《審査会場：川口市立体育武道センター》

## 受審者及び合格者数

段 位	男	女	計	合格者	合格率
初 段	25	3	28	28	100%
二 段	19	2	21	21	100%
三 段	19	5	24	24	100%
四 段	15	1	16	11	69%
五 段	11	0	11	10	91%
合 計	89	11	100	94	94%

## 平成14年度(後期)埼玉県居合道部昇段者

〔初段～五段の昇段者、受審番号順〕

### 初段合格者

小田敬太・中林正堯・小西 徹・飯野 拡・水村幸宏・守屋直和・山田 啓・山口 純・秋元秀行  
安西大輔・高石興則・須藤 剛・柳澤昌秀・菊地雅昭・山崎崇司・平川博隆・後藤勇一・久保田修  
玉利俊一・福士哲次・山田慎一郎・星野栄一・高橋文夫・横澤清一・長島洋吉・遠藤裕希・久野博美  
渡邊明美

### 二段合格者

師井宗祐・秋山智俊・小林秀聡・加藤 潤・友光要介・仁尾竜太・杉山伸和・仁尾岳士・佐藤彰彦  
バトバル トラジ・斉藤 聡・升澤一浩・斉藤貢一・加藤清文・山口敏明・野中重男・斉藤正嗣  
染野克己・小山晴夫・荒木加奈・秋山彩乃

### 三段合格者

備藤 秀・柴原正樹・木内俊也・金子 理・穴戸弘正・會田敏男・佐藤敏郎・村田廣宣・関川富二  
村田一則・篠原保生・宮島浩行・高橋武司・根岸和巳・堀口敬司・廣保 稔・永橋永敏・村山榮治  
岡田 實・吉村典恵・奥島馨子・町田敏子・有賀万規子・山崎映子

### 四段合格者

関口康尚・高木雅也・金井健一・諸橋良明・川井 博・上野恒輝・杉浦春男・高山陽介・八木衆司  
田中仁子

### 五段合格者

腰塚弘和・磯 康弘・鈴木貴博・田端邦義・黒瀬茂雄・斉藤 修・針ヶ谷敏雄・岡田 實・増田 求  
大木忠次郎



# 平成14年度第3回居合道講習会

1. 日 時 / 平成14年11月4日(月・祝日)  
午前9時受付・9時30分開始・午後4時終了
2. 場 所 / 入間市武道館
3. 講習内容 / 全日本剣道連盟居合・審判法
4. 講 師 / 範士八段渡辺秀雄(主任講師)・教士八段井上巳代治
5. 参 加 者 / 初段以下15名、二段9名、三段7名、四段6名、五段10名、  
六段17名、七段16名 八段2名 合計82名参加

平成14年11月4日、埼玉県剣道連盟居合道部による本年度は第3回目となる講習会が、入間市武道館で開催された。

開講式の後、ただちに講習開始となった。まず、全講習生を対象に講話の時間が持たれた。話をされたのは、本日の講習長である渡辺秀雄範士八段である。

渡辺範士は講話として、全剣連が昭和50年に通達した「剣道(居合道)の理念及び修練の心構え」を基に、渡辺範士の感ずるところを盛り込んで行われた。

「居合道は人間形成の道であるが、日常生活も同じく人間形成の場である」

「広く人類の平和・繁栄に寄与するものであり、権力者をつくっていくのではない」

「私も何年も修行しているが、なかなか上手く行かない。」といった範士の言葉を受け、「居合の本質とは何か」ということを再確認した受講生も多かったように思われる。また、居合道の歴史にも触れられ、現在このように発展している居合道が、これから先良い方向に進むか、悪い方向に進んでしまうのか、すべては我々一人一人にかかっていることを力説された。受講生全員が責任の重さを痛感し、気持ちを新たにしたことであろう。

続いて全剣連居合12本の全体講習が行われ、実技を井上巳代治教士八段、解説渡辺範士により、要点の説明、演武が行われた。

次に次年度の全国大会に向けての強化選手による演武があり、1～6本目を柳川淳五段、7～12本目を松本保典教士七段が演武し、全体講習を締め括った。

続いて五～七段と初段～四段以下の2つのグループに分け、それぞれ渡辺先生、井上先生の指導が行われた。

午後からは、会場を交替し、引き続いて講習が行われた。

七～五段については、審判法について渡辺先生から詳細な指導があり、試合者と審判員に別れて、実践形式で講習が行われた。審判法の技術的なことはもとより、勝敗を決定した根拠を審判員が一人一人意見を述べることで、試合者にとっても、大変勉強になる講習であった。

初段～四段以下のグループでは、基本を大切に、技の正確性を主にした講習や基礎訓練を中心に、井上先生により細部にわたって指導が行われた。

閉会式で渡辺先生の講評に、「講習会に参加して、今は分かったようなつもりでいても、家に帰る頃には忘れてしまう。だからこそ、同じことを何度も繰り返さなければ駄目なんですよ。講習会に参加したからには、一つでもいいから、何かを学んで、自分のものにしていくという意欲的な取り組みが必要であることを痛感した。」  
(柳川 記)

## 『総てに感謝』

東入間支部 星 光

今回江戸川スポーツセンターにおける昇段審査で、お陰様にて六段合格を得ることが出来ました。これも渡辺先生、山崎先生、井上先生をはじめ、埼玉県剣道連盟居合道部の指導者の諸先生方のご指導の賜物と深く感謝致しております。

顧みますと昨年（2001年）11月、同じ場所で初めての六段審査。入間神刀館の館長に付き添ってもらっての不合格、面目なし。

2度目は今年（2002年）の秩父での審査、自分なりにはよく出来たと思って内心合格かと思いましたが、またまた不合格、逃げるようにして会場を後にしました。何が原因で不合格だったのか解らず悩みましたが、捨てる神あれば拾う神ありで、ありがたいもので、東京の八段の先生が数多く手直しをして下さいました。

今回3度目、当日はいつも行動を共にする同僚2名の応援を得ながら、ようやく合格させていただきました。

指定技は3本、9本、12本目でしたが、思い起こせば大利根での講習会で、鈴木勝雄先生に3本目受け流しのご指導をうけ、初めて3本目にも鞘引きがあることを知ったり、また入間市武道館における講習会では、松本孝先生に9本目の足の引きの注意点を教えて頂いたり、埼玉大学では井上先生に中心軸について教わり、目から鱗の心境になったり、村田先生には12本目を教わったり、審査当日は、三日尻先生に着物の乱れを見て頂いたり、その他諸々…。本当にこの合格までには埼玉県の居合道に携わって居られる先生方のあたたかいご指導を数多く受けましたことが、走馬灯の如く思い起こされます。

本当に有り難うございました。

しかし何と云っても、今回の合格は日頃から陰になり日向になり私を支えてくれる同僚の本間さん、神能さんのお二人に数多くの手助けを頂いたことが大きな力になりました。本当に感謝しております。私一人では到底合格させていただくことは出来なかったでしょう。改めて仲間の大切さを痛感させられました。これからも宜敷くお願い致します。

審査後、東京の八段の先生から、“神刀流の技で審査員の目を引きつけたのが合格に結び付いた”というお言葉を頂きました。

神刀流という古流を習いはじめて17年、関地一丸先生にはこの間本当に居合道の初歩から手取り足とり指導を受け、試行錯誤の結果どうにか六段合格までにいたりしましたこと、この紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。本当に有り難うございました。

最後に弱小集団の我が入間神刀館に所属されている方々の益々の発展を祈念しながら、これからも居合道に精進していきたいと考えておりますので、宜しく御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

以上、総てに感謝！

## 『居合道六段に昇段して』

朝霞支部 亀山和嘉

今から2年前の10月末に病に倒れ入院、1か月で退院できたものの、11月の段位審査会は既に終わっていました。医師は、「無理はしないで素振り程度の運動にして下さい。」と忠告して下さいまし

た。リハビリで元気な頃の体に戻れることを願いつつ、稽古らしきことを続けてきました。居合道講習会があれば参加し、月1回の合同稽古会にも顔を出して、諸先生がやさしく、楽しくも、きびしい稽古を頂きました。体がもとに戻った感じがしてきたところ、今度は腰痛にかかり、痛みが取れることなく一年間審査会を受審することはできませんでした。

今年になり、冬・春と過ぎても腰痛は治らず。「秩父で全剣連主催の居合道講習会がある。」と言われ、地元でもあり、チャンスとばかりに参加しました。

講習・受審に於ける留意点・心構え等、勉強が出来た気持ちでした。

そして次の日、審査会に臨みました。結果は不合格でした。「残念だ。どこが悪かったのか、腰痛のせいかな、」と反省しきり。「よし、一からやり直そうと。」痛みが出たときは解説書に目を通したり、見取り稽古をして過ごしてきました。

今回、東京での審査会に再度六段位に受審しました。待ち時間は長く感じました。今日は腰の具合も良さそう。着装には腰痛に気を配り、腰に厚い皮板を付けて対応しました。

よし、頑張るぞ。気持ちばかりあせり気味でおさまらず。その時、井上先生から「落ち着いて、ゆったりした気持ちで行きなさい。」と声を掛けて下さいました。何だか気持ちが軽くなり、「平常心・平常心」と口から出たくらいです。受審が終わり合格発表の用紙が貼り出されました。……私の番号が有りました。「早く報告を」と井上先生のもとへ。「先生、私の番号有りました。」「おめでとう、良かった良かった。」力強く、両手で私の手を握手して下さいました。自分より先生がこれ程喜んで下さるとは、胸が熱くなり、腰痛のことなど忘れていました。本当に心から「有り難うございます。」これからも頑張りますので、宜しく願い申し上げます。

## 『居合道六段に合格して』

飯能支部 時 田 潤

合格発表の紙に、自分の番号を見るのは、年をとっても（現在76才）飛び上がる程うれしいことでした。講習会等での渡辺秀雄先生、山崎誉先生、井上巳代治先生、ほか、多くの先生方のご指導のたまものと、心より感謝申し上げます。

「早く一人前の六段になれ」という指針を与えられたものと受け止めました。

今までに、三度、背中や腰、膝を痛めて、寝たきりになり、大そう苦しみました。おかげで医療に頼り過ぎず、時間をかけ、自分の力で直していく以外にないことを知りました。起床時には、体の筋肉をほぐす体操を入念に行う。毎日一度は木刀や刀を手にする。膝や腰が弱いので、稽古には「立業」を繰り返して、体が暖まってから「座業」に切り換える。礼法やそれぞれの技に要する秒数を計り、自分のペースをつかむ。仮想敵に対する「気構え」(...つとめたつもりでも、顔だけの居合になったことが多かったのですが...)などに留意してきました。審査会場では直前まで可能な限り手足を動かし、「体調に合わせて、自分の居合ができればよい」と思っていました。

以前、私の剣道場が所沢市にあり、故武田信太郎先生のお住まいに近かったことから、居合について先生から直接手ほどきをいただいたことが始まりで、故日名子先生や、舘田先生ご夫妻に、基本を教えていただきました。また、井上巳代治先生と同じ飯能市におりますので、長年のおつきあいを通して、身近にご教示をうけてきました。実に恵まれた環境にあったことを、有り難く思っております。

約15年前に、自宅に小道場をつくり、以後「ふすまを開けると、板張りがある」という生活になりました。

「願うことは、叶えられる」 剣友諸氏と修行を重ね、3年先を夢見ております。

## 月例稽古委員会からの報告

居合道部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も佳き年であります様、御祈念申し上げます。

居合の道に於いてもそれぞれの人生と重ねて、楽しく深く永く修練をし、より多くの感動を心身の健康と共に味わう事こそ、道を求める者の正しい有り様であると思っております。

月例稽古委員会は埼玉大学剣道場に於いて、毎月第三日曜日午後1時より4時まで稽古会を実施しております。居合道部行事や伝達講習会等の諸行事と重なり、残念ながら休みとなる事もあります。当日参加の高段者の先生と月例稽古委員による、少人数に別れてのきめ細やかな指導は好評であります。月例稽古会をさらに充実させたいと考えております。会員皆様の多数の御参加をお待ち申し上げます。  
(月例稽古委員 三日尻 幸治 記)

## 居合道部月例稽古会予定表

場 所 埼玉大学剣道場

稽古日 毎月第三日曜日(但し、居合道部行事と重なった場合は休み)

時 間 午後1時より午後4時まで

対象者 居合道部会員1級より八段まで、どなたでも参加できます。

平成15年1月19日	休み(センター試験のため)
平成15年2月16日	月例稽古会
平成15年3月16日	休み(居合道部講習会)
平成15年4月20日	月例稽古会

稽古中の事故、往復途上の事故については各自の負担で。

道場内は禁煙です。

### 訃 報

平成14年11月4日、第7回関東居合道大会において、東入間支部の相澤昊選手が演武終了納刀後、開始線に戻る途中、仰向けに倒れました。出場者の中に消防庁・警視庁の居合道部の方が居り、救急隊到着まで、人工呼吸・心臓マッサージ等を行い、救急車の中でも救急隊の方々に同様の処置を行っていただきましたが、転倒2時間後、女子医大第二付属病院で帰らぬ人となりました。

通夜では、同大会に出場されていた松本隆夫先生、東入間の居合道の仲間達、告別式には東京都居合道部会会長佐川博男先生、本県居合道部長井上巳代治先生に御出席いただき、お別れとなりました。又、試合中ということで特例により、埼玉県剣道連盟よりお香典を、東京都居合道部会及び埼剣連居合道部より生花とお香典をいただきました。

大会関係者、埼玉県の大大会出場者の方々には、会場にて大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。さて、相澤氏は、若い頃より武道が好きで、60歳を過ぎてから居合道・杖道を学び、道場では若い仲間と熱心に研究しながら、楽しく練習されており、来年の四段受審を楽しみにしておりました。

御家族の方も突然の事で驚かれたようでしたが、御家族の思いやりか本人が言ったか、全剣連居合3本目の受け流しの姿が祭壇に飾られ、生前の本人の居合道に対する意気込みが伝わりました。

終わりに、本県居合道部の多くの方々より御連絡をいただきました。本紙面をお借りし、皆様方に厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。合掌。(東入間支部 小坂部 茂 記)

### < 編集後記 >

新年明けましておめでとうございます。平成15年のスタートに、居合道部ホームページが開設されました。ご覧ください。本年10月18日、秩父で行われる全日本居合道大会へ向け、それぞれ目標を明確にし、会員一丸となって取り組んで行きましょう。  
(小宮山 記)